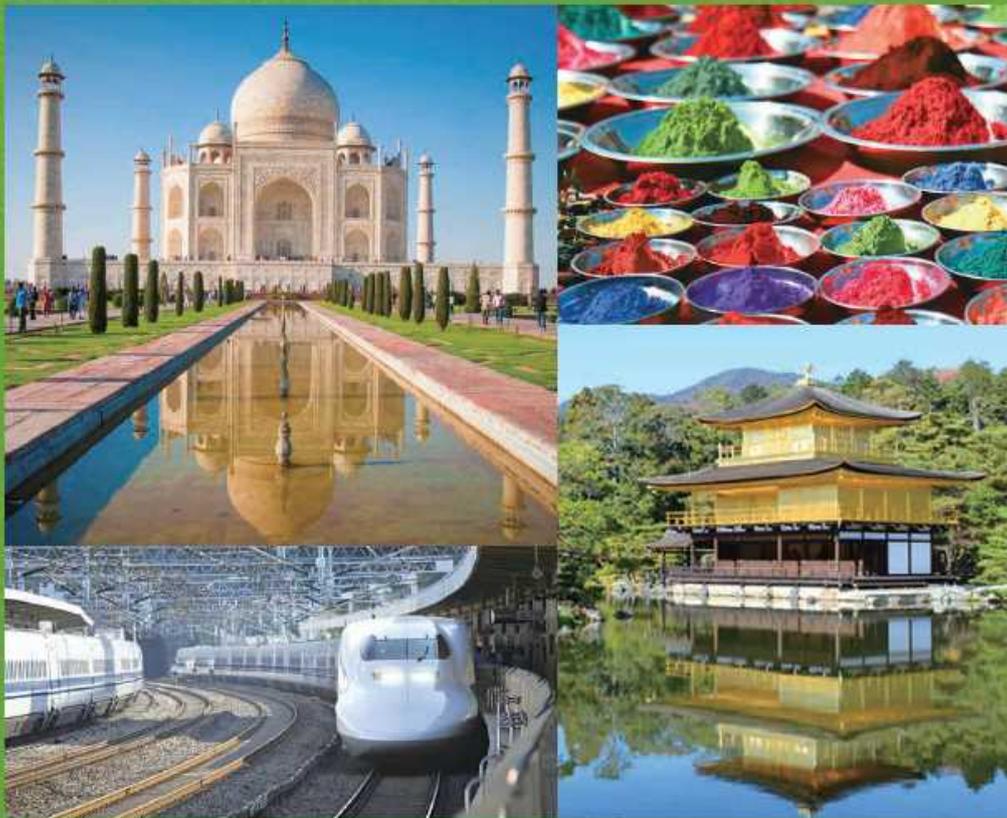


2015 年度 立命館大学  
インド IIT-H 産学国際協働 PBL プログラム  
募集要項

いざ行かん！  
インド留学で見つける新しいワタシ



[募集対象]

理工学部・情報理工学部・生命科学部 1～4回生

理工学研究科・情報理工学研究科・生命科学研究科 1～2回生

[応募期間] 2015年4月15日(水)～5月8日(金)17時

[選考結果発表] 5月15日(金)17時にCAMPUS WEBで通知

## はじめに

立命館大学理工系 3 学部・3 研究科 (理工学部・理工学研究科、情報理工学部・情報理工学研究科、生命科学部・生命科学研究科) は、文部科学省「平成 26 年度 大学の世界展開力強化事業」に採択されました (2014 年度～2018 年度)。

この構想では、異文化・多様性社会であるインドの大学と相互理解を深め、産学国際協働 PBL (Problem/Project Based Learning) による学習を中心に行い、真に国際的視野を持った理工系人材を育成します。

2015 年度より「インド IIT-H 産学国際協働 PBL プログラム」を開講します。今後さらに重視される国際的素養を身につけ、グローバル化が進む社会・企業で将来活躍したいという意欲あふれるみなさん、ぜひ一緒に学びましょう。

## 1. プログラムの内容

インドが置かれている社会的状況を理解し、企業の技術者の参加も得ながらインドの学生と「産学国際協働 PBL」により、科学技術の側面から解決案を提案します。PBL では、日本の学生とインドの学生がペアになり、問題解決策の提案に取り組みます。PBL を進める中で、解決策を見つけ出すプロセスの重要性を学び、思考力・プロジェクトの推進力・チームワーク力・英語でのコミュニケーション力等を身につけます。プログラムは 3 つのパートに分かれています。

A . 事前講義・インド工科大学ハイデラバード校 (IIT-H) の学生とのワークショップ

B . 現地研修 (IIT-H に滞在) 6 月に来日した学生と PBL のワークショップ

C . 事後講義と成果発表会

<年間スケジュール>

本プログラムの担当は、廣瀬幸弘教授です。

	日程	時限(理系)	内容		
A	5月19日(火)	9-10時限	・オリエンテーション、授業の進め方		
	5月26日(火)	9-10時限	・インド文化・経済等のバックグラウンドなどに関する講義		
	6月2日(火)	9-10時限	・インドにおける課題とPBLのテーマの検討		
	6月13日(土)	3-4時限	<IIT-H学生とのワークショップ>		
		5-6時限 7-8時限	・PBLのテーマ設定 ・テーマに沿ってグループで検討		
	6月16日(火)	9-10時限	・中間発表プレゼンテーション		
	6月17日(水)	9-10時限	・インド文化等に関する講義		
	6月23日(火)	9-10時限	・IIT-H学生とのワークショップを受け、PBLの解決策提案に向けた検討 ・IIT-H現地研修に向けた準備		
7月7日(火)	9-10時限				
	8月25日(火)	5-6時限			
B	9月2日(水) ～12日(土)	-	[スケジュール]		
				A.M.	P.M.
			[Day 1]	Arrival in Hyderabad	Welcome Reception at IITH
			Day 2	Lecture #1 (water/transport)	Workshop (PBL)#1
			Day 3	Site visit related to Lecture #1 (water purification plant/highway)	
			Day 4	Lecture #2 (healthcare)	Workshop (PBL)#2
			Day 5	Site visit related to Lecture #2 (hospital)	
			[Day 6]	Cultural activity	
			Day 7	Lecture #3 (information technology)	Workshop (PBL)#3
			Day 8	Lab visit	Workshop (PBL)#4
			Day 9	Workshop (PBL)#5	Presentation (PBL), farewell party
			[Day 10]	Free Time	Departure

C	9月25日(金)	(別途連絡)	現地研修を受けたまとめ、成果発表会
---	----------	--------	-------------------

現地研修の日程、スケジュールは変更する可能性があります。

## 2. プログラムで目指す到達目標

[学部生]

- ・インドにおける様々な課題に対して、理工系の専門的知識を基盤に解決策に繋がる要素を提示することができる。
- ・グループワークにおいて、英語でコミュニケーションをとり、プレゼンテーションにおいて、英語で分かりやすく提案を説明することができる。
- ・インドの多様な民族・言語と歴史・文化、社会が置かれた状況を理解し、説明することができる。

[大学院生]

- ・インドにおける様々な課題に対して、理工系の専門的知識を基盤にグループの解決策をとりまとめ提示することができる。
- ・グループワークにおいて、英語で議論をリードしながらコミュニケーションをとり、プレゼンテーションにおいて、英語で分かりやすく提案を説明することができる。
- ・インドの多様な民族・言語と歴史・文化、社会が置かれた状況を理解し、説明することができる。

## 3. 募集定員

10名

## 4. 応募資格

- 理工学部、情報理工学部、生命科学部の1～4回生、または理工学研究科、情報理工学研究科、生命科学研究科の1～2回生であること。国籍は問いません。
  - TOEIC®00点以上、TOEFL®PBT435点以上、TOEFL®iBT41点以上のいずれかの要件を満たすこと。
  - 将来、国際的なフィールドで活躍したいという強い動機、意欲を有すること。
  - 最後までプログラムをやり遂げる強い意志を有すること。
- 授業、卒業研究多忙などを理由とした欠席や不参加は原則認めません。

## 5. 費用

### (1) 大学負担費用

- a) 渡航費（日本 - インド往復航空運賃）
- b) 現地での宿泊費

インド工科大学ハイデラバード校の寮（または近隣のホテル）に宿泊します。

### (2) 参加者負担費用（5万円程度）

- a) ビザ取得費
- b) 海外旅行保険料
- c) インド渡航時の国内交通費（自宅 - 関西空港間など）
- d) インドでの食費・移動費

本学が実施するすべての海外留学プログラムにおいて、海外旅行保険料の加入をお願いしています。

## 6. 単位授与

本プログラムを終了した学生に授与される単位は以下のとおりです。

学部/研究科	科目名	科目分野	単位数
理工学部	特殊講義（基礎専門）	基礎専門	2 単位
情報理工学部	特殊講義（共通専門）	共通専門	
生命科学部	特殊講義（専門基礎）	専門基礎	
理工学研究科	海外実習	共通科目	
情報理工学研究科	海外実習	共通科目	
生命科学研究科	海外実習	共通科目	

[成績評価方法] 以下の内容にもとづき成績評価を行います。

PBL：参加姿勢・態度、到達目標・自己目標に対する達成状況、最終成果

英語：TOEIC スコア、PBL におけるコミュニケーション、プレゼンテーション

## 7. 応募方法

### (1) 応募期間など

- ・応募期間：4月15日（水）～5月8日（金）17時まで
- ・提出方法：窓口持参またはメール送信
- ・提出先：所属学部・研究科事務室（理工学部事務室、生命科学部事務室、情報理工学部事務室）  
メールアドレス：reinvent@st.ritsumei.ac.jp  
事務室窓口持参の場合は、窓口開室時間内に持参してください。

### (2) 提出書類（エントリーシート）

募集ガイダンス(4月14日、4月16日)で配布される書式、または下記ホームページの添付ファイルをお使いください。

#### 【立命館大学 世界展開力強化事業ホームページ】

「トップページ」「NEWS/アップデート」から「産学国際協働 PBL プログラムの募集を開始しました」を参照してください。

[URL] <http://www.ritsumei.ac.jp/reinventindia/>

## 8. 選考結果発表

5月15日（金）の17時にCAMPUS WEBで通知します。

許可者は、5月19日（火）9-10時限（16時20分から）の事前講義に必ず出席してください。

教室など詳細は選考結果発表時にCAMPUSWEBでお知らせします。

## 9. 受講登録

受講登録は事務室で行います(自身での登録は不要です)。3学部・研究科とも年間受講登録制限外科目です。

## 10. 奨学金

JASSO(日本学生支援機構)の指定する所定の要件(成績基準と家計基準)を満たした学生には、奨学金(6万円)を支給します。JASSO奨学金の支給要件は以下のとおりです。

### 【JASSO奨学金支給要件】

以下の計算式で求められる2014年度の成績評価係数が2.30以上であること。

[成績評価係数の算出方法例]

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出(小数点第3位を四捨五入)

	成績評価				
	優	良	可	不可	
4段階評価(パターン1)	—	優	良	可	不可
4段階評価(パターン2)	—	A	B	C	F
4段階評価(パターン3)	—	100~80点	79~70点	69~60点	59点以下
5段階評価(パターン4)	100~90点	89~80点	79~70点	69~60点	59点以下
5段階評価(パターン5)	S	A	B	C	F
5段階評価(パターン6)	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

(計算式)

$$\frac{(\text{評価ポイント3の単位数} \times 3) + (\text{評価ポイント2の単位数} \times 2) + (\text{評価ポイント1の単位数} \times 1) + (\text{評価ポイント0の単位数} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

以下の家計基準を満たしていること。ただし、以下の基準を満たさない場合でも、個別の事情(兄弟が私立大学に在学している等)があれば基準を満たしたものと扱われる場合があるので、理工学部事務室に相談してください。

[学部生] ・ 給与所得世帯：955万円未満

・ 給与所得以外の世帯：469万円未満

[大学院生] ・ 本人及び配偶者の収入が486万円未満であること。

## 特別英語講座

このプログラム受講者を主な対象者とした全14回の特別英語講座を開講します。この講座では、毎週の講座を通して必須となる語学力の更なる向上を図ります。また、英語による発信力アップも目指します。なお、6月と12月のTOEIC団体受験は必ず受験してください。

### (1) 日程

5月中旬～ 7月初旬	全14回	[平日(全8回)] 5月20日(水)から7月8日(水)の毎週水曜18時00分～19時30分 [土曜集中(全6回)] 5月30日(土)、7月4日(土)いずれも 10時40分～12時10分、13時00分～16時10分
---------------	------	--

### (2) 受講料

無料(ただし、講座のテキストは自己負担)

### (3) 申込要領

事務局のメールアドレスに以下の必要事項を記載し、TOEICスコアが分かる画像等をメールに添付し、件名は「特別英語講座の受講希望」にして送信してください。選考結果はCAMPUS WEBで通知します。

[応募期間] 4月15日(水)～5月8日(金)17時まで

[必要事項] 学部/研究科、学科/専攻、回生、氏名、学生証番号、TOEICスコア(Total、Listening、Reading)

[事務局メールアドレス] reinvent@st.ritsumei.ac.jp

## Q & A

Q1：IIT-H って、どんな大学ですか？

A1：IIT-H は、インドの理工学系高等教育機関の最高峰であるインド工科大学（Indian Institute of Technology、IIT）の16校の一つ、ハイデラバード校（IIT-H）です。コースは、生体医工学、バイオテクノロジー、土木工学、化学工学、コンピューター科学工学、電気工学、エンジニアリング工学、物質科学工学、機械工学などがあり、学生数は現在約1000名です。

最新設備の新キャンパスを建設中で、みなさんが9月に現地研修を行うころには完成予定です。

また、外務省の調整のもと設置されている「インド工科大学ハイデラバード校支援コンソーシアム」には立命館大学も参画しています。

なお、現在、IIT-Hの学生2名が、立命館大学に来て学んでいます。



Q2：PBLとは、どんなものですか？

A2：PBLはProject-Based LearningもしくはProblem-Based Learningの頭文字をとったもので、プロジェクト提案型・問題解決型の学習です。今回のプログラムでは、インド・日本の社会・企業が抱える課題に対して、科学技術の側面から解決案を提案します。調査・解決策の提案においては、異なる分野の学生同士が1つの課題に取り組む面白さを体感できます。その中で、皆さんが日々勉強している専門分野の意義を再確認することもできます。

Q3：インドのことをあまり知らないのですが、大丈夫ですか？

A3：大丈夫です。事前講義でインドの文化や経済などについて学びます。また、6月にインド人学生が来校しますので、交流を通じてインドについて深めることができます。みなさん自身でも興味を持っている調べてみてください。



Q4：英語力が不安なのですが？

A4：特別英語講座があります。5月～7月ですので、積極的に取り組んでください。また、事前講義等においても、現地でのコミュニケーションを意識した内容も取り入れていますので、英語力強化を図ることができます。

Q5：海外に行ったことがありませんが、大丈夫ですか？

A5：大丈夫です。現地でのプログラムでは、全工程で担当教員が同行します。また、インドにある「立命館インド・オフィス」が、サポートしますので心配ありません。

### IIT-H 学生と交流しよう！

IIT-H 学生が本学に滞在している間には、以下の企画を実施します。インド人学生と仲よくなるチャンスです。PBLを進めるうえでも役立つこと間違いなし！ぜひ参加して、交流の輪を広げましょう。

6月上旬	Welcome Party
6月12日(金) 終日	企業・工場見学
6月14日(日) 終日	京都などのフィールドワーク
6月中旬	Farewell Party

詳細な日時は近日中にお伝えします。

India×Japan チガウ!  
だから オモシロイ!!

## ～ インドでの研究・滞在体験記 ～

所属：情報理工学部 4回生

派遣先：シンピオシス国際大学 派遣期間：2015年2月18日～2015年2月25日

現地では、インドの産業構造に関するレクチャー、企業見学、インド人学生との交流を通じて、現在のインドの急速な発展を支えている要因は何であるか、また、今後も持続的に発展していくためには何が必要であるかについて調査しました。

企業見学では、大手自動車メーカーのタタ・モーターズとITサービス企業のTechmahindraを訪問し、日本企業との違いを目の当たりにしました。タタ・モーターズでは、品質確保のために多くの自動車部品が輸入に頼っていること、工作機械に多くの日本製品が使われていることを知ることができました。また、実際にインドの街をインド人学生とコミュニケーションを取りながら見聞し、インフラ整備の重要性を認識することができました。

インドで日本と全く異なる文化を経験できたことで、今後の研究に対して、新たな価値観を生み出してくれたと思います。

所属：理工学研究科 1回生

派遣先：National Institute of Technology Karnataka

派遣期間：2015年1月21日～2015年2月11日

私は、日本で行っている研究をインドでも引き続き行い、自身の研究の有効性や可能性について学びました。研究を通して、インド人学生の方と色々な意見交換を行い、英語力はもちろん、日本の文化と自身の研究内容について今まで感じる事のない重要性を認識する事ができました。

普段は現地の学生と生活を共にし、彼等の研究活動や勉学に対する高い意識を肌で感じ、よい刺激になりました。日本に戻ってから、自身の研究に対する考え方や視野が広がったように思います。

## ～ 立命館大学で学んでいるIIT-H学生からのメッセージ ～

Name : Karre Rajamallu

Course : Research Scholar (Ph.D.)

Laboratory of Prof.AMEYAMA

[Message] IIT Hyderabad is new established IIT, started functioning from August 2008, from its temporary campus located in Ordnance Factory, Medak district, INDIA. Vision of IITH will be the cradle for inventions and innovations. It will advance knowledge and scholarship to students in science, technology and liberal arts, and equip them to handle the challenges of the nation and the world in 21st century. IITH is focusing on developing an innovative and flexible academic program and research environment that will excite young minds.

今まで気がつかなかった新しい  
ワタシを探しに行こう!!